

レジメン名	(新生児一過性骨髄球増多症)シタラビン	適応	新生児一過性 骨髄球増多症
		1クール日数	7日
		上限クール数	なし

【注射】		投与量\day	1					7	注意事項
<側管①>	■キロサイド注(20)▼限 生理食塩液【20】mL (mL入力) 1時間かけて 抗癌剤精密持続点滴注射 (薬剤調製) 調製液はシリンジに充填する。 (充填量はシリンジの75%まで)	0.5~1mg/kg 適量	●	●	●	●	●	●	<修正週数35週以上> シタラビン 1mg/kg/回 <修正週数35週未満> シタラビン 0.5mg/kg/回 適量の生理食塩液に溶解し、 1日1回 1時間静注投与 (1~7日間) *注意事項* WBC 20,000/ μ L以下となったら投与を一 旦中止する。再度芽球の増加傾向が見ら れれば、投与を再開する。 腫瘍崩壊症候群の予防に多めの輸液が必要 である。
<側管②>	生理食塩液【20】mL (mL入力) 静脈内注射 フラッシュ用	2 mL	●	●	●	●	●	●	

血/化療/≤2h